

令和7年度 秋田県観光振興ビジョン有識者会議（議事要旨）

1 日時 令和7年8月28日（木）10:00～12:00

2 場所 秋田県庁本庁舎7階 73会議室

3 出席者（敬称略）

佐野 元彦・・・秋田ノーザンハピネッツ株式会社 代表取締役会長（会長）

大須賀 信・・・公益社団法人日本観光振興協会観光地域づくり・人材育成部門観光地域マネジメント部長 兼 Destinations International Social Impact Committee 所属

伊藤 恵美子・・・株式会社旅館多郎兵衛 若女将

斎藤 美奈子・・・合同会社 Anique 代表

米田 賢吾・・・有限会社鼎家 代表取締役

（株式会社トラパンツイノベーションサポート代表取締役：鈴木委員は欠席）

【県】

観光文化スポーツ部 次長 高島 知行

観光戦略課長 大森 慎也

誘客推進課長 荻原 由美子

秋田県観光連盟専務理事 上田 智子

関係各課、各地域振興局総務企画部職員 ほか

4 あいさつ

○高島観光文化スポーツ部次長あいさつ

本日の有識者会議に御出席いただき感謝申し上げます。

本県の観光を取り巻く状況について、令和6年の延べ宿泊者数は約315万人で、前年から約5%増加し、コロナ禍前の水準の8割を超えるまでに回復しているが、全国と比較すると回復ペースが遅れていると認識している。

多様化するニーズに対応するための魅力的な観光コンテンツや、受け入れ体制の整備、秋田の魅力発信など、今後戦略的に進めるべき課題は多岐に渡ると考えている。

県はこうした課題に対応するため、7月1日にマーケティング戦略室を設置し、マーケティング手法を本格的に導入して効果的な取り組みを進めている。

本有識者会議は、令和3年度に策定した秋田県観光振興ビジョンに基づき県が実施した取り組みを検証し、委員の意見を今後の施策に反映させることを主旨とする。

今年度末でビジョンの計画期間が終了することから、今後の方向性についても意見を伺いたい。

○佐野会長あいさつ

今朝の秋田魁新報にマーケティング戦略室の記事が掲載されており、観光交流分野へのマーケティング思考の導入が重要であることを再認識した。

観光は非常に幅広い分野の人々が関わるので、連携による相乗効果が、 $1+1=2$ の足し算ではなく、掛け算で3、4、5にも10にもなる可能性がある。

本日御出席の皆様による、幅広い経験と知識からの積極的な意見を期待する。

5 有識者会議の進め方等について

□大森観光戦略課長

(資料1により説明) 質問なし

6 議事

(1) 今後の秋田県観光振興ビジョンについて

□大森観光戦略課長

(資料1－2により説明)

●佐野会長

今の説明内容について、意見や質問を伺う。

○大須賀委員

次期アクションプランは、従来の目標達成率だけでなく、投資収益率(ROI)の考え方を導入し、事業ごとの経済波及効果や、費用対効果を県民に示すよう検討してほしい。

次期アクションプランにおいて、地域別プロジェクトを廃止する意図は。

□大森観光戦略課長

地域別プロジェクトは、これまで数値目標を求めておらず、達成状況の検証が難しかったこと、また地域団体による主体的な計画策定を支援する方針から、次期アクションプランからは除くこととした。なお、地域団体による計画策定については、これまでどおり県として積極的に支援していく。

●佐野会長

次期秋田県観光振興ビジョンの策定方針については、事務局案のとおりとするということ、異議は無いのか。

(異議なし)

(2) 令和6年度の観光振興ビジョンに基づく施策の主な取組状況と今後の対応方針について

□大森観光戦略課長

(資料2、3により説明)

●佐野会長

それでは、審議に入る。

今説明のあった取組状況を参考に、今後の次期総合計画や、アクションプランに対する意見やご提案という視点で御発言いただきたい。

はじめに、「重点施策１：自立した稼ぐ観光エリアの形成」に係る御意見を伺う。

○大須賀委員

「アキタファン」のアクセス数という目標があるが、アクセス数だけでなく、コンバージョン率、つまりどれだけの人が実際に訪れたのかを重視していくべきであり、次期計画の指標を検討するうえで考慮して頂ければと思う。

観光指標については、観光庁が示している「住んでよし、訪れてよし」に加えて、北米などでよく言われている「働いてよし（雇用）」、「投資してよし」という４つの視点が必要だと考えている。新しい事業が起き、働く場所が作られ、人が来て、そして投資が進むというサイクルが重要であり、それが現れるような指標を作るべきである。

更に、観光産業の平均給与水準や、経済波及効果を測る指標についても、今年から新たに DMO（観光地域づくり法人）の測定すべき KPI にも含まれているため、導入を検討して頂きたい。

○米田委員

「アキタファン」の AI によるモデルルート作成機能は代表的な場所はあるが、更に情報量を充実させてほしい。また、動画コンテンツや画像も単なる景色だけでなく、家族旅行での体験など具体的に想像できるような内容を強化すべきである。

民間企業（例：タウン情報のウェブサイト）のような、より長く滞在したくなるコンテンツ作りが必要である。

○斎藤委員

「サービスの高付加価値化」という言葉の定義を明確にし、民間事業者が具体的に何をすべきか理解出来るよう、噛み砕く必要があるのではないかな。

お金をかけなくても、挨拶や笑顔が心がけたり、風呂上がりに冷たい沢水を提供するといったちょっとした工夫により、付加価値は生み出すことができる。

○伊藤委員

高付加価値化は、現場で働いている身としては「風呂のない部屋に風呂をつける」など、物理的なものや新たなサービスが分かりやすい。ソフト面（笑顔など）は当たり前のサービスであり、単価を上げるためにはハード面の改善が重要であると認識している。経営が厳しい宿泊業において、ハード面の改修に対して県の補助金があるのは非常に有り難い。

「アキタファン」については、秋田県に何泊滞在させる意図で作っているのか。モデルコースは、日帰りや、１泊、女子旅、大人旅等でカテゴリが分かれているが、全部で１３件と件数は少ない。観光消費額を増やすには、滞在日数を増やさないといけないと思うので、２泊３日、３泊４日、１週間など、滞在期間別の具体的なプランを増やすべきである。

●佐野会長

次に、「重点施策２：ターゲットの的確な把握と効果的な誘客プロモーションの展開」に係る御意見を伺う。

○大須賀委員

秋田県は、コンテンツは豊富にあるが、売る力・商流を作る力が決定的に弱いと考える。DMO や東北観光推進機構との連携を通じて、行政も本格的な販路開拓を支援すべきである。

また、DMO のガイドライン改正に伴い、都道府県 DMO は、新たな役割として国内外の「商流」づくりが求められる。具体的には、秋田県観光連盟が秋田県内 DMO に対しインバウンド向け・国内向け旅行商品流通の機会を積極的に提供する方針が求められている。

更に、「アキタファン」については、AI 検索時代に対応した SEO 対策として、「整理された項目立て、見出し、ランキング形式」などを意識してコンテンツを作成すべきである。

○伊藤委員

以前、地元の食材（ヨーグルト）を調達したいが、生産者の情報がなく非常に困った経験がある。県が地域内の事業者間のマッチングも支援してもらえると有り難い。

●佐野会長

次に、「重点施策３：時代の変化を捉えた秋田ならではのツーリズムの推進」に係る取組結果に係る御意見を伺う。

○斎藤委員

教育旅行のポテンシャルは高いと考えており、推進していくべきだと考える。

北秋田市の場合は、教育旅行を推進したい反面、宿泊施設がないという問題があるが、今使われていない施設を短期間だけ稼働させる形も良いのではないかと考えている。短期であれば働きたいという層もいると思う。

○大須賀委員

私も教育旅行には非常に高いポテンシャルがあると思っている。教育旅行は、受入人数も多いし、一度誘致に成功すると、次年度以降のリピートにつながりやすいため、県全体で手厚く誘客を進めるべきである。

●佐野会長

次に、「重点施策４：旅行者の多様なニーズに応じた受入態勢の整備」に係る取組結果に係る御意見を伺う。

○大須賀委員

多様なニーズに応じた受入態勢の整備とあるが、多様な旅行者を受け入れる意義を具

体的に説明するべきである。同質の人が集まって意見していると、良い意見が出ないということは良くあることであり、今後、県自体が活性化して明るい社会になっていくには、まずは旅行者から多様性を認めていって、多様なニーズを受け入れる態勢を作っていくことで、秋田県民にとっても住みやすい社会になるということであると思うので、こういった文脈を是非加えて頂きたい。

○伊藤委員

二次交通の不便さは認識しているが、公共交通機関の増便が困難な現状では、無料送迎の充実にも限界があるため、不便を楽しむという歌い文句を作っていくことも必要ではないかと考えている。

○斎藤委員

秋田内陸線でも、現金払いのみといった不便さを、あえて付加価値と捉える視点もあると考える。キャッシュレス化が進む中で、現金が必要な体験が逆に記憶に残るケースもあるのではないかな。

○大須賀委員

県外在住者の視点として、山形と秋田をつなぐ鉄道の分断や特急列車の減便など、公共交通機関の利便性低下は観光客誘致にとって深刻な問題である。県内の住民は、車を利用するため気づきにくいですが、外部からの訪問者にとっては、「行かない理由」になり得る問題である。

●佐野会長

住民が移動する手段と、観光客が移動する手段を分けるのではなく、住民が移動する手段は観光客も当然使えるといった、相互利用できるようなモビリティの整備が県全体の大きな課題であると思うので、次期計画にも是非盛り込んで頂きたいと思う。

●佐野会長

次に、「重点施策5：戦略的なインバウンド誘客の推進」に係る取組結果に係る御意見を伺う。

○米田委員

クルーズ船の経済効果は大きいため、県としてさらに力を入れるべきである。

現状、下船から市内までのバス乗車に時間がかかったり、駅周辺で迷子になる外国人が多いなど、受け入れ体制に課題があると感じている。船の規模に合わせたバス配備や、駅到着後の情報提供・案内強化が必要であり、これらが経済効果の拡大にも繋がると考える。

○大須賀委員

クルーズ船の乗客は船内で食事を済ませていることが多いため、下船後の食事提供よ

りも、加工品などのお土産販売に注力すべきである。

○斎藤委員

クルーズ船来航時に、秋田市内での歓迎ムードがあまり感じられなかったため、秋田駅周辺にのぼり旗を設置したり、お土産を積極的に売り込むなど、街全体で積極的な PR を行っていくことが必要だと感じた。

クルーズ船の寄港情報は、民間事業者にどのように提供されているのか。

○事務局

クルーズ船の寄港情報は、年間スケジュールが商工団体等に提供され、そこから事業者へ情報が流れている。また、寄港の直前のタイミングでも連絡が流れているほか、天候の関係で寄港できない可能性があれば、そういった連絡も提供される体制となっている。

○大須賀委員

クルーズ船の来航情報を、当日来航した後のニュースだけでなく、テレビ CM や新聞などを通じて事前に県民に周知することで、より歓迎ムードを醸成できるのではないのか。

●佐野会長

クルーズ船から秋田市中心部への移動手段として、秋田商工会議所において、クルーズ列車の復活が議論されている。列車内での民謡披露や、線路と陸を両方走る DMV（デュアル・モード・ビークル）を導入することで、体験をマネタイズ化して、投資回収を目指すアイデアが出ているので、紹介をさせて頂く。

●佐野会長

続いて資料 4、地域別プロジェクトに対して説明をお願いします。

【観光振興ビジョンに基づく主な取組と今後の対応方針について（地域別プロジェクト）】

□各地域振興局総務企画部（名簿参照）

（資料 4 により説明）

●佐野会長

それでは、鹿角、北秋田、山本地域振興局の取組に関する意見を伺う。

なお、次期アクションプランでは、地域別プロジェクトは廃止となる予定であるが、各地域のこれまでの取り組みに対する御意見は、今後の県全体の方針を策定する上で貴重な参考となるので、積極的な発言をお願いします。

○大須賀委員

繰り返しとなるが、各地域が素晴らしいコンテンツをたくさん開発しているが、これ

らを商流に乗せて売っていくことが最も重要であると強調したい。観光事業者のモチベーションを維持するためにも、コンテンツが売れていくことは重要である。

県の観光連盟については、KPI にも誘客活動をいくら行い、どの商品がどれくらいヒットしたかといった、「売る」ということを明確に意識した目標を組み込む事を推奨する。東北観光推進機構と協力体制を進めていくことも必要である。

○斎藤委員

地域間で重なるコンテンツが多いことから、情報共有を密にし、コンテンツの磨き上げや底上げを図るべきである。例えばモンベルが、県内で直営店舗を増やしているが、こうしたアウトドアベースの作り込みに関する情報共有を積極的に行ってほしい。

○大須賀委員

全体に関連して、事業評価において、アウトプット（結果）だけでなく、アウトカム（社会がどう変わったか）が重要である。数字だけでなく、施策によってどのような良い変化がもたらされたかを明確に記述することが重要性であるので、アウトカムの意識も全体として持って頂ければと思う。

●佐野会長

次に県央部、秋田、由利地域振興局の取組に関する意見を伺う。

○大須賀委員

先日、由利高原鉄道の方とお話する機会があったが、非常に熱意があり、新たに思い入れが出来た地域である。由利という地名が県外の方には伝わりづらい地域でもあると思うので、売り方をみんなで考えていって欲しい。DMO が未設立の地域であるため、行政や、県観光連盟の丁寧なケアが必要なエリアであると考えている。

●佐野会長

最後に県南部、仙北、平鹿、雄勝地域振興局の取組に関する意見を伺う。

○伊藤委員

地元委員として、地域の魅力を発信していきたいと考えているが、自分たちだけでやっていると、同じような物になってしまうので、地域振興局と連携し、多様な視点の意見を取り入れながら、地域の魅力を更に発掘していきたいと考えている。

<閉会>